

教科（科目）	英語（論理・表現Ⅰ）	単位数	2単位	学年	4学年
使用教科書	数研出版『EARTHRISE Logic and Expression I Advanced』				
副教材等	数研出版『EARTHRISE アースライズ総合英語』、『(教科書準拠) ワークブック』、『EARTHRISE English Grammar in 33 Stages』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①幅広い教養を身につけ、他者と協働しながら、粘り強く挑戦し続け、地域社会や国際社会に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成します。 ②主体的、自律的な人間として、行動力にあふれ、自他を大切にする思いやりの心とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成します。 ③主体的に学ぶ力を身に付け、社会における課題等に気づき、創意工夫、試行錯誤を重ね、その解決のために行動できる人材を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、発達段階に応じて1・2年を「基礎の充実」、3・4年を「発展・挑戦」、5・6年を「自律・深化」に分け、学習内容の確かな定着、主体的で対話的な学習態度の育成を図りながら次の教育活動を展開します～ ①総合的な応用力、学問への探究心を育むとともに、知識や技能を活用するための思考力、判断力、表現力を育成する課題解決型の授業を実施します。 ②他者とコミュニケーションを取りながら、地域社会や我が国の魅力を国内外に発信できる知識・技能等を高めるための学習活動を実施します。 ③身に付けた力を社会で発揮するため、地域貢献活動、社会体験活動への参加を推進します。 ④自己肯定感を高め、他者を思いやり、多様性を理解する態度等を育成するため、系統的な特別活動や学年を超えた多様な体験活動を実施します。

2 学習目標

- 話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの活動を通じ、以下の資質・能力を育成することを目指す。
- (1) 話すこと[やり取り]：日常的・社会的な話題について、基本的な語句や文を用いたり、論理の構成や展開を工夫し、多くの支援を受けながら、情報や考え、気持ちを伝え合ったり、やり取りを通じて必要な情報を得ることができる。
 - (2) 話すこと[発表]：日常的・社会的な話題について、基本的な語句や文を用いたり、事前の準備などにおいて、論理の構成や展開を工夫し、多くの支援を受けながら、情報や考え、気持ちを伝え合ったり、やり取りを通じて必要な情報を得ることができる。
 - (3) 書くこと：日常的・社会的な話題について、基本的な語句や文を用いたり、事前の準備などにおいて、論理の構成や展開を工夫し、多くの支援を受けながら、情報や考え、気持ちなどを文章を書いて伝え合うことができる。

3 指導の重点

- 進学希望者が多いことから、
- ① 聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を行い、基本的な言語事項の習得を目指します。文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。
 - ② 言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成することを目指す。
 - ③ 自分の考えや気持ちを英語で表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを英語で話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりしている。	英語の背景にある文化を理解している。 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図っている。

5 評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・課題等の提出 ・パフォーマンステストの分析 ・振り返りの記述の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・言語活動の取り組み状況の観察 ・パフォーマンステスト ・課題レポートやワークシート ・振り返りの記述の分析 ・課題等の提出 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・言語活動の取り組み状況の観察 ・パフォーマンステストの取組の観察 ・課題レポートやワークシート ・課題等の提出 ・振り返りの記述の分析 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業回数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	はじめに	2	英語の語順／品詞	言語材料: 英文の基本構造(S+V...)/各品詞 英語の語順や品詞について理解する S(や): 英語の語順や品詞を意識し簡単なやりとりができる	2	ワークシート 発表の様子
	Lesson 1 Introduce yourself to your class	4	説明・紹介する	言語材料: (S+V+C)/(S+V+O)/(S+V+O+O)/(S+V+O+C) S(や): 適切な文型を考え、パートナーにインタビューができる S(発): 友人について 30 秒間、口頭で発表できる W: 適切な文型を考え、50 語で自己紹介を書く	4	小テスト 発表の様子 発表の様子 振り返り ワークシート 週末課題

5	Lesson 2 How do you spend your weekends?	4	時を表す(現在・過去・未来)	言語材料:過去形/現在進行形 /will/be going to do/(未来を表す)現在進行形 S(や):適切な時制を考え、週末の出来事について口頭でやりとりできる S(発):週末の出来事について 30 秒間、口頭で発表できる W:適切な時制を考え、50 語で週末の出来事について書く	4	小テスト 発表の様子 発表の様子 振り返り ワークシート 週末課題
6	Lesson 3 Where did you go on vacation?	4	時を表す(完了形)	言語材料:現在完了形/現在完了進行形/過去完了形 S(や):適切な時制を考え、おすすめの場所について口頭でやりとりできる S(発):友人がすすめる場所について 30 秒間、口頭で発表できる W:適切な時制を考え、50 語で最近でかけた旅行についてブログを書く	4	小テスト 発表の様子 発表の様子 振り返り ワークシート 週末課題
	Lesson 4 How can I get there?	4	能力・許可・義務などを表す	言語材料:can/may/must/have to S(や): may や can を用いて、地図を使い道案内ができる S(発):道案内のロールプレイができる W:must や have を使い、50 語で謝罪のメールを書く	4	小テスト 発表の様子 発表の様子 振り返り ワークシート 週末課題
	前期考査					
	Lesson 5 Would you like to come with me?	4	依頼・勧誘や推量などを表す	言語材料:would/could/may/<should have+過去分詞>/<must have+過去分詞> S(や):would, could, may, might を用いて、イベントに友人を誘うことができる S(発):イベントに友人を誘う場面でのロールプレイができる W:should have+過去分詞を用いて、50 語で謝罪のメールを書く	4	小テスト 発表の様子 発表の様子 振り返り ワークシート 週末課題
7	Lesson 6 Something really Japanese	4	「～される」を表す	言語材料:<be 動詞+過去分詞>/be made of ~ /be interested in ~ /be pleased S(や):受動態を用いて、購入したいアイテムについて口頭でやりとりできる S(発):受動態を用いて、購入したいアイテムについて 30 秒間、口頭で発表できる W:受動態を用いて、50 語で友人を祭りに誘うメールが書ける	4	小テスト 発表の様子 発表の様子 振り返り ワークシート 週末課題
	Lesson 7 Do you have any volunteer activities?	4	「～すること」などを表す(to do)	言語材料:不定詞の名詞的用法/形容詞的用法/副詞的用法/ It is ... to do ~ S(や):to 不定詞を用いて、関心のあるボランティア活動について口頭でやりとりできる S(発):自分が選択したボランティア活動について 30 秒間、口頭で発表できる W:to 不定詞を用いて、50 語でボランティア活動について文を書く	4	小テスト 発表の様子 発表の様子 振り返り ワークシート 週末課題
9		4		言語材料:<want+0(人)+to do>/<see	4	

	Lesson 8 Let's enjoy school life!		to do/doを使って表す	+0(人)+do)/(let+0(人)+do)/(make+0(人)+do) S(や):want+0+to do などを用いて、学校行事について口頭でやりとりする S(発):学校行事についてロールプレイをする W:使役動詞を用いて、50語で学校行事についてスピーチを行う		小テスト 発表の様子 発表の様子 振り返り ワークシート 週末課題
	前期期末考査					ペーパーテスト パフォーマンステスト
10	Lesson 9 Are you eco-friendly?	4	「～すること」を表す (doing)	言語材料:動名詞(主語になるもの/目的語になるもの)/前置詞の目的語になるもの/動名詞の否定形 S(や):動名詞を用いて、環境保護について口頭でやりとりできる S(発):環境保護について30秒間、口頭で発表できる W:動名詞を用いて、50語で環境保護についてスピーチ原稿を書く	4	小テスト 発表の様子 発表の様子 振り返り ワークシート 週末課題
	Lesson 10 What sports do you like?	4	doing/doneを使って説明する(1)	言語材料:分詞(限定用法/叙述用法)/excitedとexciting S(や):現在分詞を用いて、スポーツイベントについて口頭でやりとりできる S(発):スポーツイベントについて30秒間、口頭で発表できる W:現在分詞や過去分詞を用いて、50語で最近行ったスポーツについてブログを書く	4	小テスト 発表の様子 発表の様子 振り返り ワークシート 週末課題
	Lesson 11 That's new to me!	4	doing/doneを使って説明する(2)	言語材料:<see+0(人)+doing>/<have+0(物)+done>/分詞構文 S(や):使役動詞や分詞を用いて、図表にある情報について口頭でやりとりできる S(発):世界中の労働時間や休日について30秒間、口頭で発表できる W:strictly speakingなどの表現を用いて、50語で自分が選択した野菜や果物についての文章を書く	4	小テスト 発表の様子 発表の様子 振り返り ワークシート 週末課題
11	Lesson 12 Which Nobel Prize winner do you admire most?	4	人や物について説明する(who, which)	言語材料:関係代名詞(who/which/that)/関係代名詞の継続用法 S(や):whichやwhoなどを用いて、ノーベル賞受賞者について口頭でやりとりできる S(発):自分が選択したノーベル賞受賞者について30秒間、口頭で発表できる W:whoを用いて、50語で尊敬する人物についての文章を書く	4	小テスト 発表の様子 発表の様子 振り返り ワークシート 週末課題
	後期中間考査					ペーパーテスト パフォーマンステスト
	Lesson 13 I'm interested in history	4	時や場所などについて説明する	言語材料:関係副詞(when/how/where)/関係副詞の継続用法 S(や):whenやhowなどを用いて、歴史上の偉人について口頭でやりとりできる S(発):自分が選択した歴史上の偉人について30秒間、口頭で発表できる W:whereを用いて、50語で日本の伝統的構造物についての文章を書く	4	小テスト 発表の様子 発表の様子 振り返り ワークシート 週末課題

12	Lesson 14 Various countries around the world	4	比較を表す	言語材料:〈as ～ as ...〉/〈not as ～ as ...〉/比較級/最上級 S(や):原級や比較級を用いて、世界各地について口頭でやりとりできる S(発):自分が選択した地域について 30 秒間、口頭で発表できる W: not as ... as や最上級を用いて、世界各地の天候について比較する文章を書く	4	小テスト 発表の様子 発表の様子 振り返り ワークシート 週末課題
1	Lesson 15 What job are you interested in?	4	仮定を表す	言語材料:仮定法過去/I wish+仮定 法過去/仮定法過去完了 S(や):仮定法を用いて、希望する職業について口頭でやりとりできる S(発):自分が選択した職業について 30 秒間、口頭で発表できる W: 仮定法過去完了などを用いて、26 歳時についていた職業について文章を書く	4	小テスト 発表の様子 発表の様子 振り返り ワークシート 週末課題
2	パラグラフ・ライ ティングの基本	3	パラグラフ・ライ ティング	言語材料:英語のパラグラフの構成 W: 主題文、支持文、結論文について理 解し、文章を書く	3	発表の様子 ワークシート 週末課題
	ディベートの進め 方	4	ディベート	言語材料:ディベートの流れ、ディベート でよく使われる表現 S(や・発):ディベートの流れやよく使わ れる表現を理解し、簡単なディベートを 行う	4	発表の様子
	後期期末考査					
3	ディスカッション の進め方	4	ディスカッション	ディスカッションの流れ、ディスカッション でよく使われる表現 S(や・発):ディスカッションの流れやよく 使われる表現を理解し、簡単なディスカ ッションを行う	4	発表の様子

計 73 時間 (48 分授業)

7 課題・提出物等

- ・ワークシート、課題レポート
- ・ワークシートや振り返りシートの提出や、ライティングやスピーキングのパフォーマンスのテストを行います。
- ・適宜模擬試験対策課題もあります。

8 担当者からの一言

英語の学習には「聞く」、「話す [やり取り・発表]」、「読む」、「書く」の 4 技能 5 領域のバランスが重要です、様々な題材を通して、自分の考えを深め、積極的に英語で意見を伝え合いましょう。また、英文を読み書きする際には、背景知識が必要です。普段からニュースや新聞などを利用して、多くの情報に触れてください。
(担当：布 施)